保証書付

取扱説明書

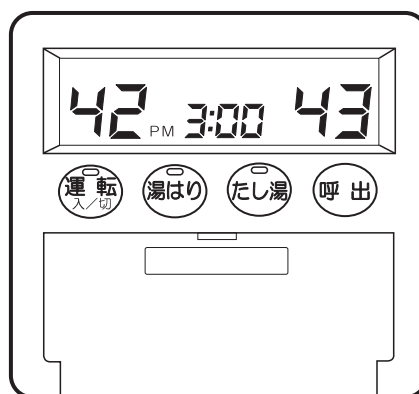
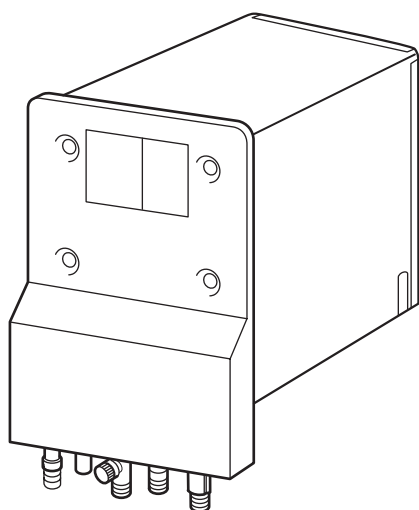
浴室内設置

型式名	WFK-1602SA

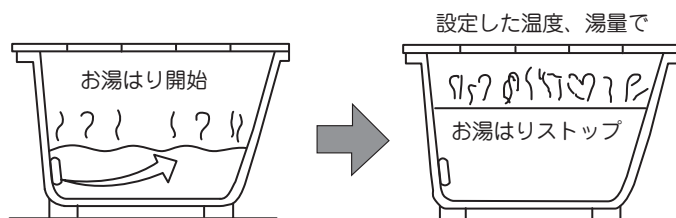
ガス給湯器

品　　名	HK-516RFWH-FQN
機器コード	11-055-22-11624

このたびはガス給湯器をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。

- ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みいただき正しくご使用ください。
- この説明書の32ページが保証書になっています。内容をよくご確認のうえ、大切に保存してください。

特長・機能の紹介

1 スイッチポンでお湯はりができます。

ふたをして湯はりスイッチを押せば、あらかじめ決めておいたお好みの湯温と湯量でお湯はりができます。

お好みの給湯温度でお湯が使えます。

リモコンで設定した温度でお湯が出ます。約 37℃～ 60℃まで設定できます。

目　次

特に注意していただきたいこと

■機器を安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書では、お客様や近隣の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために説明文及び製品の表示では、いろいろな絵表示をしています。表示と意味は次のようになっています。内容をよくご確認してから本文をお読みください。

注意表示	意　　　　　味
⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

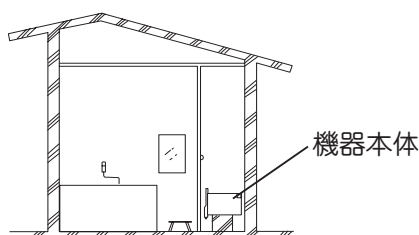
絵表示には次のような意味があります。

絵表示	意　味	絵表示	意　味	絵表示	意　味
	一般的な注意事項		一般的な禁止事項		必ず行なう事項
	感電注意		分解禁止		アース接続確認
	高温注意		火気厳禁		電源プラグを抜く
	発火注意		接触禁止		ぬれた手の接触禁止

⚠危険

■機器の設置

●この機器は、屋外用（外壁貫通タイプ）ですので絶対に屋内に設置しないでください。不完全燃焼を起こし大変危険です。

禁　止

危 険

■ガス漏れに気づいたとき

●すぐに使用をやめてガス元栓を閉じる。また、メーターガス栓も閉じ、窓や戸を開けてお買い求めの販売店またはもよりの東京ガスへご連絡ください。

［ガス栓の例］

●お買い求めの販売店や東京ガスの係員が処置するまでは絶対にマッチやライター等の使用や、電源プラグの抜き差しや、近くの電気機器（換気扇など）の「入」「切」や周辺の電話を使用しないでください。

ガス爆発の恐れがあります。

火気厳禁

警 告

■使用ガスの種類及び使用電源の確認

●機器の銘板に表示してあるガス種及び電源を確かめてください。表示のガス種及び電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。

●ガスの種類には、都市ガスとＬＰガスとがあり、都市ガスには、さらにガスグループの区分があります。

●転居されたときも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。
分からない場合はお買い上げの販売店またはもよりの東京ガスに連絡してください。

メーカー型式
設置方式
ガスの種類及びグループ → 例 都市ガス用　13A
ガス消費量
定格電圧 → AC100V
定格消費電力
定格周波数 → 50Hz ／ 60Hz
製造年月日及び製造番号 → 06．04 － 00001（製造年月　製造番号）
製造業者名

■設置場所について

●機器の設置・移動及び付帯工事はお買い求めの販売店またはもよりの東京ガスに依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

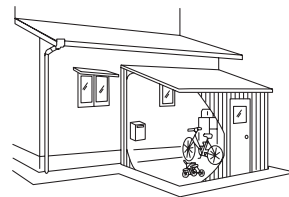
●設置場所によっては、近隣の家と騒音によるトラブルが生じることがありますので十分配慮して設置してください。

●この機器は壁貫通タイプの屋外設置型ですので、増改築などによって、屋内状態にしないでください。
また、波板やビニール、塗装時に使用した養生シートなどによって、囲いすることもおやめください。

禁　止

●増改築時には燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。

変色・破損・腐食の原因となります。

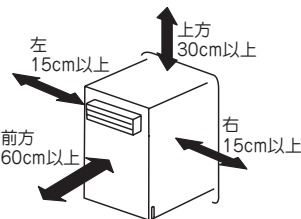
●塀などを増設する場合は、機器の点検・修理のための空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮してください。（機器の点検修理のための空間については、販売店または東京ガスにお問い合わせください。）

■ガス接続

●この機器はねじ接続です。ガス接続工事はお買い求めの販売店またはもよりの東京ガスに依頼してください。

■使用中の外出、就寝禁止

●火をつけたまま就寝や外出は絶対にしないでください。火災の原因になります。

■燃えやすい物とは離す
（樹木、木材、箱など）

●木造住宅など可燃壁に取付ける場合は、専用の取付スリーブ（WF-SLV）を使用し、10㎜以上の離隔距離を確保してください。
火災予防のため

必ず行なう

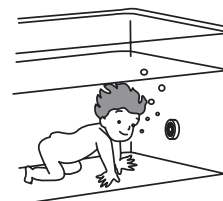
■火災予防
●排気口の上や周囲には紙や木材など燃えやすいものを置かないでください。
●機器や給排気口の周囲ではスプレー、ガソリン、ベンジンなど引火の恐れのあるものを置いたり使用しないでください。
引火して火災の恐れがあります。
●機器の周囲や排気トップにスプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを置かないでください。
熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発する恐れがあります。

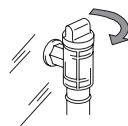
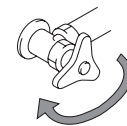
発火注意

■やけどに注意
●シャワーなどお湯を使用するときは、最初に熱いお湯が出ることがあります。手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用してください。
やけどの恐れがあります。
●入浴時には必ず手で湯温を確認してから入浴してください。お湯はり中やお湯はり後は、浴そうの上部と下部で湯温に差がある場合があります。十分にかきまぜてから手で湯温を確認してください。
やけどの恐れがあります。
●お湯はり時は、ふろアダプタから熱いお湯がでますので、ふろアダプタの下の吐出口に手や体を近づけないようにしてください。
●シャワー使用中は使用者以外はお湯の温度を変更しないでください。
突然、熱湯が出てやけどをしたり、冷水がでて思わぬ事故につながる場合があります。

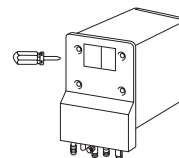
必ず行なう

高温注意

■子供に対する注意
●浴そうのふろアダプタの付近で水に潜ったりしないでください。
思わぬ事故の原因になります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
●子供を浴室で遊ばせないようにしてください。
浴そうに落ちますと思わぬ事故につながることがあります。

禁　止

■異常時の処置
●点火しない場合または、使用中に異常な臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、機器が使用途中で消火してしまった場合は、ただちに使用を中止し、ガス元栓を閉めて、25～27ページの「故障かな？と思ったら」の項にしたがって処置をしてください。処置をしても直らない場合は、使用を中止し、お買い上げの販売店またはもよりの東京ガスに連絡してください。
●地震、火災などの緊急の場合はただちに使用を中止し、ガス栓及び給水元栓を閉じてください。

［ガス栓の例］

［給水元栓の例］

必ず行なう

■分解禁止
●修理・改造は高度な専門知識が必要です。お客さまご自身では工具を使用して分解したり修理・改造は絶対に行わないでください。
思わぬ事故や故障の原因となります。

分解禁止

警 告

■電気事故の防止

●電源コードを切断して延長しないでください。
電源コードが届く範囲としてください。感電や火災などの原因となります。

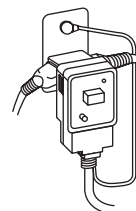
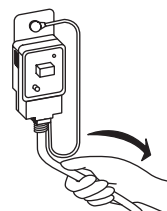
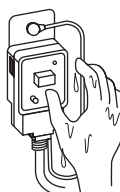
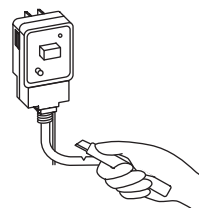
禁　止

●電源プラグは根元まで完全に差し込んでください。
差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。
痛んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使わないでください。

●電源プラグのほこりなどは定期的に取ってください。
電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

●ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
感電の恐れがあります。

●電源コードを引っぱって電源プラグを抜かないでください。
電源コードを引っぱると破損して感電や火災の原因になります。

●コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

■機器本体に無理な力を加えない

●機器本体やガスの接続口、給排気口などに乗らないでください。
けがや、機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼の恐れがあります。

■ソーラー接続禁止

●この機器をソーラーシステムに接続しないでください。ご希望の温度より高いお湯が出てやけどをする恐れがあります。

⚠注 意

■混合水栓使用時のご注意

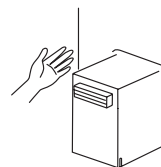
●高温で使用中は、水栓本体が熱くなりますので注意してください。
やけどの恐れがあります。

●高温で使用した後、またすぐに出湯する場合には熱い湯が出る恐れがありますので安全のため水を混ぜて残り湯を流してください。

高温注意

■やけどに注意

●使用中および使用直後は、機器の排気口や本体は高温になっていますので絶対に手を触れないでください。
特に、小さなお子様がいる家庭では、注意してください。

接触禁止

■給気口や排気口に指や棒を入れない

●給気口や排気口に指や棒を入れないでください。
故障やけがの原因となります。

■用途について

●この機器は、給湯・シャワー・お湯はり以外の用途には使用しないでください。
思わぬ故障や事故の原因になります。

■運転停止(消火)時のご注意

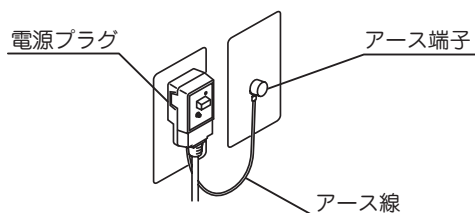
●燃焼中に電源プラグを抜いて消火しないでください。
機器の故障の恐れがあります。

■運転中(機器燃焼時)のご注意

●機器を使用中は排気ガスが室内に流入しないよう浴室の窓等、機器が設置されている近くの窓を閉めて使用してください。

■電気事故防止

●アース線をアース端子に取付けてください。
感電する恐れがあります。

アース接続

お願い

■ガス事故防止

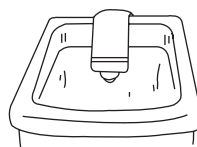
●機器使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

■業務用としての使用禁止

●この機器は一般家庭用です。業務用には使用しないでください。いちじるしく製品の寿命が縮まります。

■入浴時のご注意

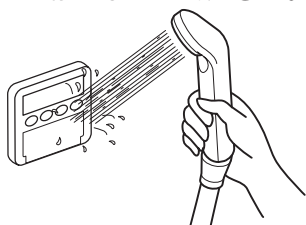
●浴そう内のふろアダプタをタオルなどで塞ぐと、お湯はり不良となり、故障の原因になることがあります。

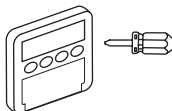
禁　止

■市販の補助用具使用について

●この機器の付属品・純正部品以外は使わないでください。
機器の異常の原因になることがあります。

お願い

■リモコンの掃除

●リモコンは防水タイプになっていますが、入浴中や、清掃などで故意に水をかけるとリモコン操作ができなくなることがあります。
清掃については23ページの「点検・お手入れ」にしたがっておこなってください。

■リモコンの分解禁止

●リモコンは分解しないでください。

分解禁止

■飲用についてのご注意

●しばらく使わなかったとき、はじめにでてくる水は飲んだり調理に用いないでください。

■井戸水、地下水、温泉水使用時のご注意

●水質によっては本体内の配管内部に異物が付着し、故障することがあります。その場合は保証期間内でも修理は有料となります。

■断水時のご注意

●断水時には運転を停止し、給湯栓を閉じてください。給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。
●断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管内にとどまることがあります。復帰した後、お使いはじめのお湯は飲用や調理用などには用いないでください。
●断水復帰後は、蛇口から十分水を流してからご使用ください。

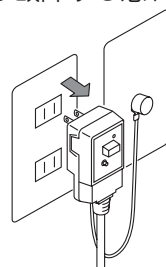
■通水使用の禁止

●運転スイッチを切った状態で、給湯栓を開けて水を流したり、シャワーを浴びたりしないでください。
機器内の通水部分に結露現象が発生し、故障の原因になります。

■電気事故防止

●電源プラグ（漏電ブレーカー付）は、必ず浴室外に設けたアース端子付のコンセントに確実に差し込んでください。
プラグにほこりなどが付着していたり、差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります。

■雷が発生しているとき

●雷が発生しているときは、使用を中止して電源プラグ（漏電ブレーカー付）をコンセントから抜いてください。
　機器が故障する恐れがあります。

電源プラグを抜く

■積雪時のご注意

●積雪で排気口が塞がれているようなときは、不完全燃焼の原因になりますので使用を控えてください。

■停電のときのご注意

●この機器は電気で作動しますので停電中は使用できません。
●停電中は全ての動作を停止します。この場合は蛇口からのお湯は水になりますので、停電復帰まで給湯栓を閉めてください。
●停電復帰後も自動的に運転されませんので、10～20ページの「使用方法」にしたがって操作してください。

■機器内部の凍結予防について

●機器内部の凍結予防は、21～22ページの「機器内部の凍結予防方法」にしたがって予防処置をしてください。凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

■長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は、凍結及び万一のガス漏れを防止するため28ページの「長期間使用しない場合」にしたがって処置をしてください。

各部の名まえとはたらき

■標準設置例

浴室リモコン
（8ページ参照）
混合水栓
（9ページ参照）
給水元栓
機器本体
浴そう
ふろ
湯
ガス
水
漏電ブレーカー
（電源プラグ）
ガス元栓
給水配管
給湯配管
ふろアダプタ
ふろ配管

※本図は、浴室のみの配管設置例です。浴室外へ給湯配管をすれば台所や洗面所等でもお湯が使用できます。別売部品の台所リモコン（9ページ参照）もあります。

■本体

■漏電ブレーカー

■浴室リモコン

湯はりスイッチ
湯はりランプ
たし湯ランプ
たし湯スイッチ

運転ランプ

運転スイッチ
運転の「入」・「切」をします
（優先の切替）

呼出スイッチ
台所リモコンでブザーが鳴ります

PM 3:00

運転 入／切
湯はり
たし湯
呼出

湯量スイッチ
お湯はり湯量を設定します

高温設定スイッチ
連続２秒押しで給湯温度を 60℃に設定します

給湯60℃　給湯　湯はり
高温設定
連続2秒押し
湯量
時計表示
時計
ふろ予約
温度・時刻 設定

時計表示ランプ

時計表示スイッチ
時計表示、温度表示が点灯します。

給湯温度設定スイッチ
お湯の温度を設定します

ふろ予約スイッチ
自動お湯はりの時刻を予約します

リモコンフタ

湯はり温度・時刻設定スイッチ
お湯はりの温度・時刻を設定します

時計スイッチ
時計合わせをします

※左記の表示は説明のため全て表示したもので、実際の運転状態とは異なります。

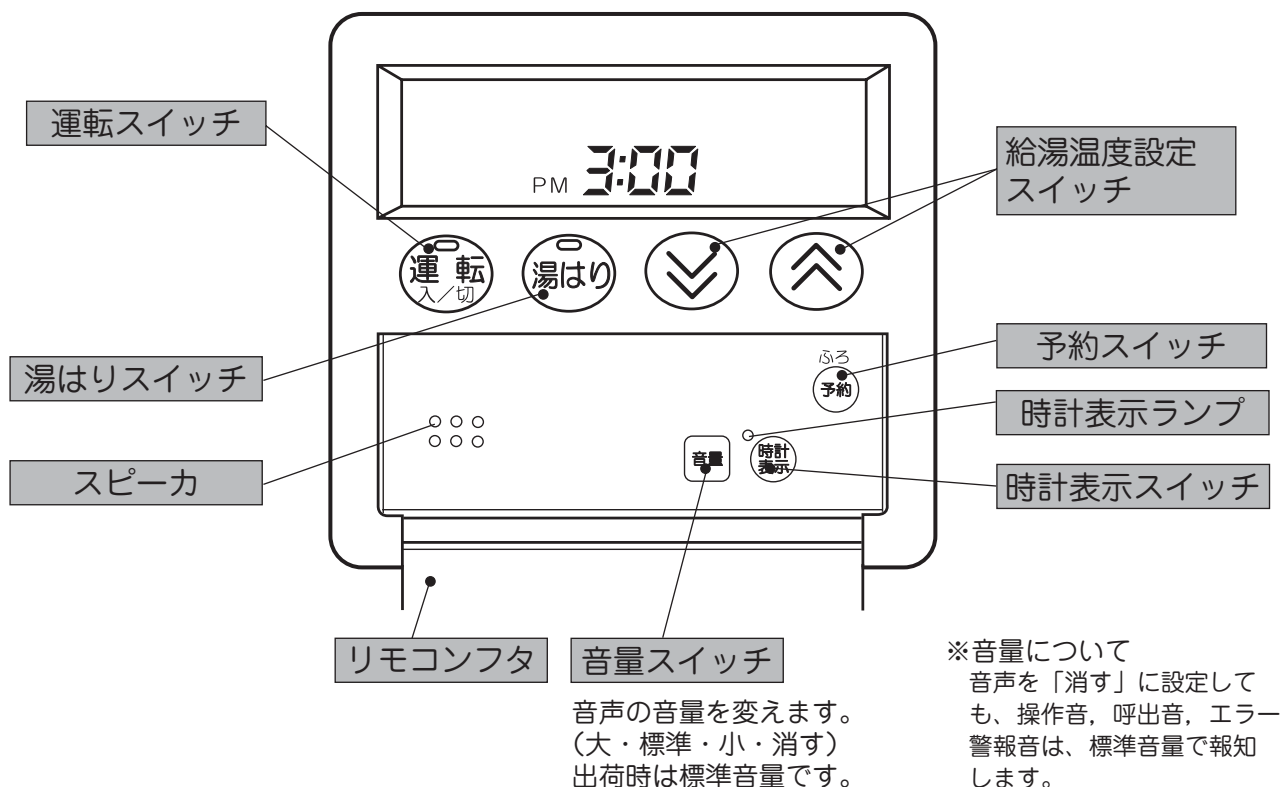
リモコン使用上の注意点

●スイッチを押すと、操作音（ピッ）がしてランプの表示が切り替わりますが、手速いスイッチ操作をすると、スイッチが受けつけないことがあります。
　しっかりと、スイッチを押して、ランプの表示が切り替わることを確認してください。

●リモコンフタは開けたままにせず、閉じた状態でご使用ください。

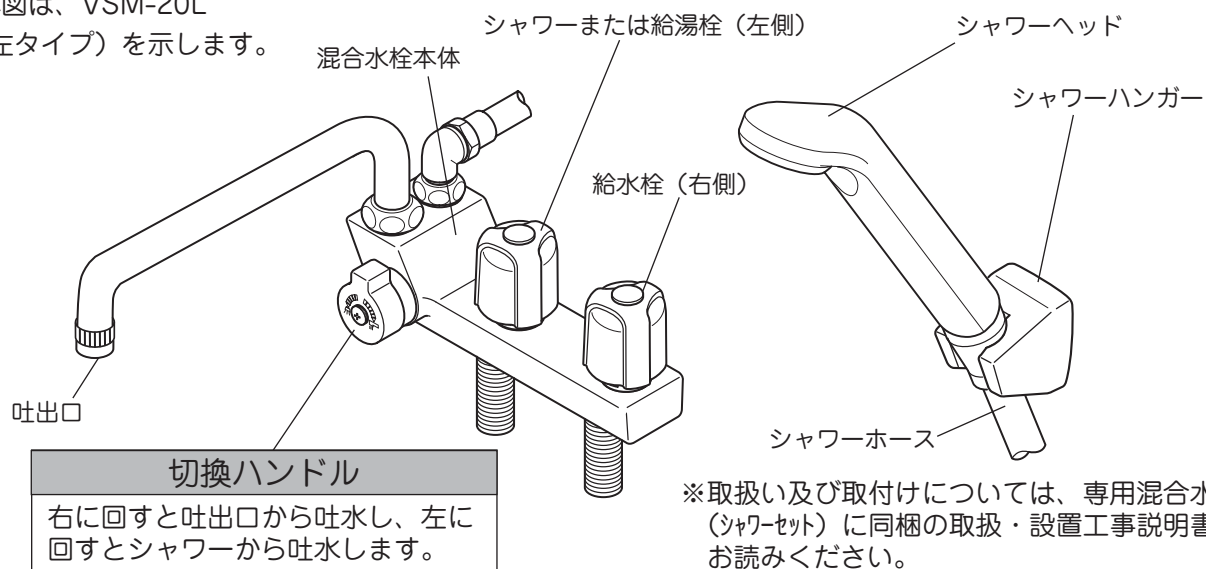
■台所リモコン（別売部品　KR-250V）

音声の音量を変えます。
（大・標準・小・消す）
出荷時は標準音量です。

※音量について
音声を「消す」に設定しても、操作音，呼出音，エラー警報音は、標準音量で報知します。

■専用混合水栓（別売部品 シャワーセット VSM-20 R/L）

本図は、VSM-20L
（左タイプ）を示します。

右に回すと吐出口から吐水し、左に回すとシャワーから吐水します。

※取扱い及び取付けについては、専用混合水栓（シャワーセット）に同梱の取扱・設置工事説明書をお読みください。

⚠ 一時止水機能付混合水栓使用時の注意点

●専用混合水栓でなく一時止水機能を持つ混合水栓をお使いの場合は、給湯・シャワーを使い終わった後に切換ハンドル（一時止水）だけで湯水を止めておかないで給湯・給水両栓でしっかり止めておいてください。
一時止水がきかなくなる恐れがあります。

初めてお使いいただくときは

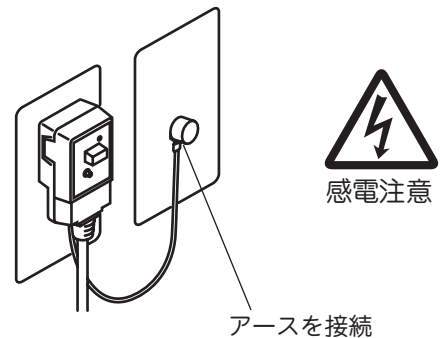
使用前の確認

初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1．給水元栓をいっぱいに開けます。

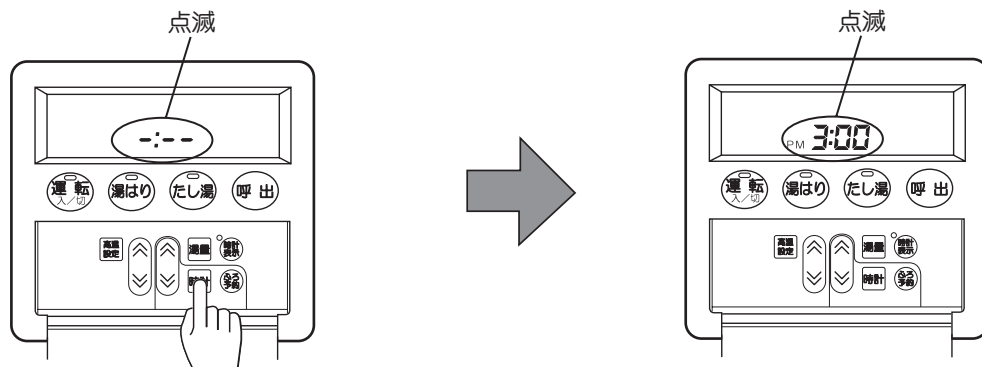
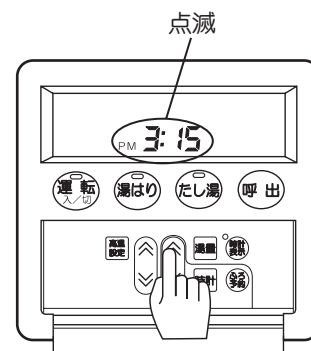
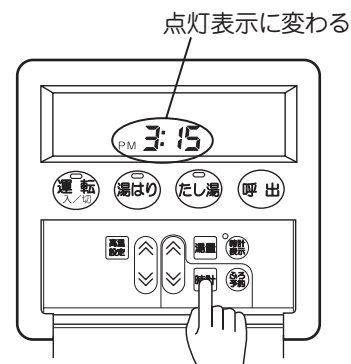
2．給湯栓、シャワー栓を開けて水が出ることを確認してください。

3．ガス栓を全開にします。

4．電源プラグ（漏電ブレーカー付）を根元まで
確実にコンセントに差し込みます。
アース線をアース端子に取付けてください。

●はじめてご使用になるときなどは、ガス配管中に空気が残っていて点火しないことがあります。
この場合、浴室リモコンおよび別売部品の台所リモコンの「運転ランプ」が点滅し、さらに時計表示部にエラーコード 111 が点滅し給湯不着火をお知らせします。
このような場合は、いったん給湯栓またはシャワー栓を閉じ、運転（入/切）スイッチを押してエラーを解除し、再度運転（入/切）スイッチを押し、給湯栓を開ける操作を２～３回繰り返してください。

使用方法　# 時計時刻の合わせかた

現在時刻の合わせかた

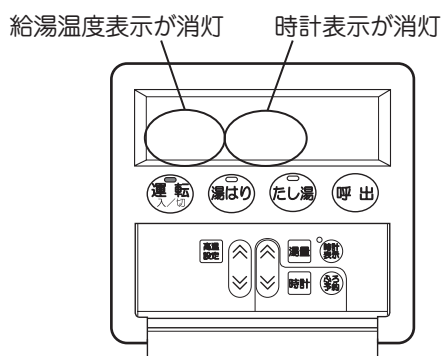
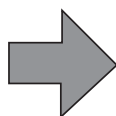
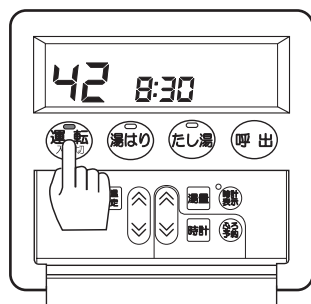
1. 時計スイッチを押します。
   - ●時計表示が点滅します。初期値は、「ＰＭ３：００」が点滅表示します。
   - （例．電源投入時、または停電復帰後は、「－：－－」点滅表示になっています。）

2. 「湯はり温度・時刻」設定スイッチを押し、現在時刻を設定します。
   - ●押す度に、１分ずつ変わります。
   - ●押し続けると、10 分ずつ早送りできます。
   - （例．ＰＭ３時１５分にセットする場合）

3. もう一度、時計スイッチを押します。
   - ●点滅が、点灯表示に変わり、時刻設定が完了します。

時刻設定は、浴室リモコンで

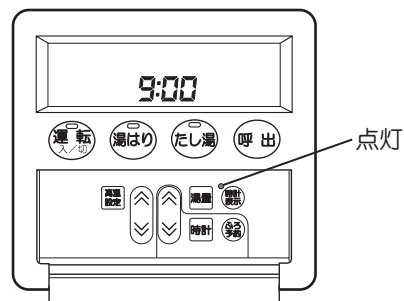
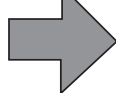
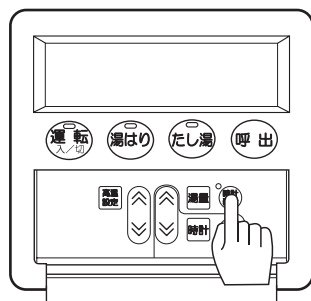
- ●現在時刻の設定スイッチは、浴室リモコンにあります。台所リモコンでは、時刻設定はできません。
- ●現在時刻の設定がされていないと、「湯はり運転予約」機能は動作しません。

使用方法　表示画面のモードを切替える

表示画面のモードを節電モード／常時点灯モードに切替えをおこないます。
※出荷時は節電モードです。

節電モード

機器を使用しないまま約 10 分たつと、給湯温度表示と時計表示が消灯します。

常時点灯モード

1. 時計表示スイッチを押します。
   - 「時計表示ランプ」が点灯し、時計表示が点灯します。

   - 「運転」スイッチが入の場合は、給湯温度表示も常時点灯します。

2. 再度時計表示スイッチを押すと常時点灯モードから節電モードに切替わります。このとき「時計表示ランプ」は消灯し、約 2 秒後に表示も消灯します。

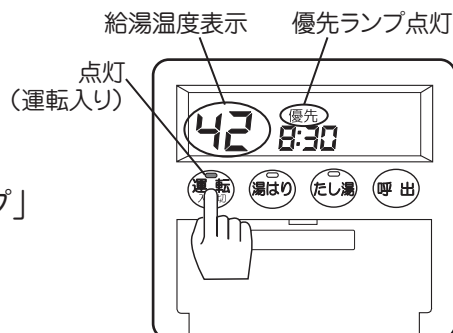
節電モード時の注意点

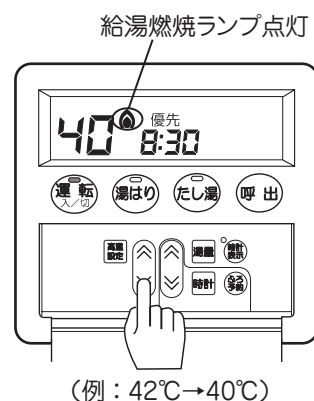
- 次の操作を行った場合は、安全のため一時的に給湯温度を復帰し点灯します。
  - ・台所やシャワーなどで給湯をご使用のとき。
  - ・給湯温度、湯はり温度設定が変更されたとき。
  - ・湯はりやたし湯をご使用のとき。
- 運転入／切を入にしますと給湯温度表示と時計表示は点灯します。
- 給湯温度を 60℃に設定している場合は、安全のため温度表示と高温ランプは消灯しません。
- 別売の台所リモコンとセットでお使いの場合、リモコン毎にモードを選択できます。

お湯の出しかた（浴室リモコンでの操作）

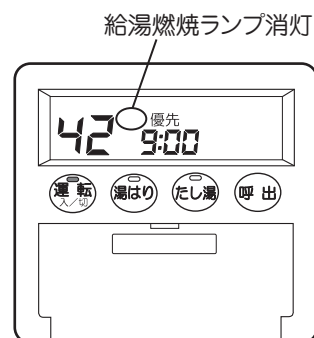
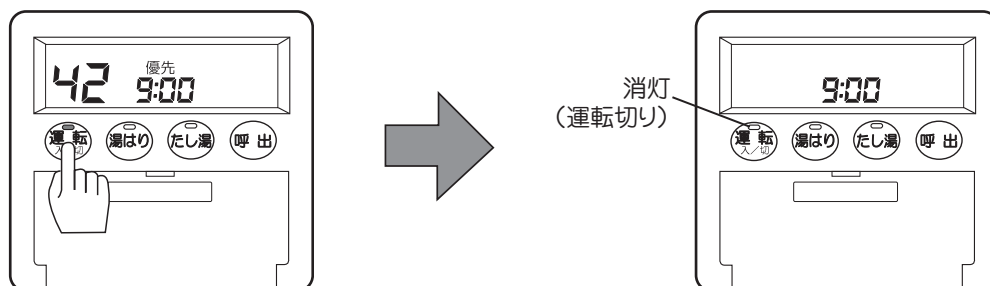
お湯を使いたい　器具運転開始

給湯温度表示　優先ランプ点灯
点灯（運転入り）

1. 運転入／切スイッチを押します。
   - ●「運転ランプ」が点灯します。
   - ●別売の台所リモコンもお使いの場合は「優先ランプ」も点灯します。
   - ●給湯温度が表示されます。

2. 給湯温度設定スイッチで湯温を調節します。
   （一度設定すると記憶します。）
   - ●給湯温度の表示は目安ですが、37～50℃、60℃の 15 段階に設定できます。（37 ～ 50℃間は、1℃きざみ）
   - ●スイッチは１回押すたびに、１段階ずつ調節できますが、∧スイッチを押し続けると 45℃までは速く動きます。

（例：42℃→40℃）

3. シャワー栓または給湯栓を開けます。
   - ●燃焼を開始し、「給湯燃焼ランプ」が点灯します。
   - ●しばらくしてお湯が出ます。
     （お湯が出るまでの時間は、配管長さによって変わります。）
   - ※別売の台所リモコンとセットでお使いの場合、台所リモコン側の「給湯燃焼ランプ」も点灯します。

シャワー・給湯停止　器具運転停止

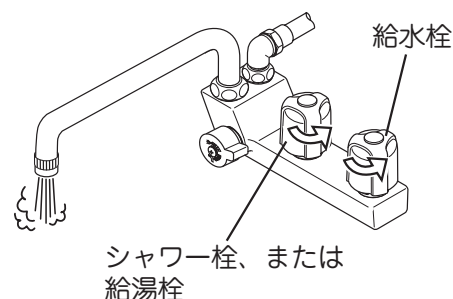
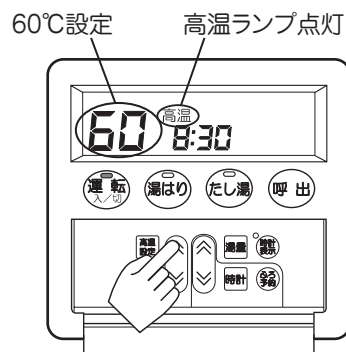
1. シャワー栓または給湯栓を閉めます。
   - ●燃焼が止まり、「給湯燃焼ランプ」が消灯します。
     （再度、シャワー栓または給湯栓を開けるとお湯が出ます。）

2. もう一度運転入／切スイッチを押します。
   - ●浴室リモコンの「運転ランプ」「給湯温度表示」「優先ランプ」が消えます。
   - ●別売の台所リモコンとセットでお使いの場合、台所リモコンの運転入／切スイッチを押しても運転停止できます。

シャワーの湯量が少ないとき（低給水圧）

●給水圧力が低く、給湯栓を全開にしても十分な湯量が得られない場合は、専用の混合水栓で湯と水をミキシングして使用することをお推めします。この場合、［∧］スイッチまたは、［高温設定］スイッチ 2 秒押しで湯温を 60℃に設定して使われることをお推めします。

●湯と水をミキシングして使用する場合、湯温調節がしづらい場合があります。この場合、給湯栓は全開で固定し、水の量で湯温を調節すると比較的易しく操作できます。

● 60℃設定にすると、「高温ランプ」が点灯します。

60℃設定　高温ランプ点灯

高温注意

［高温設定］スイッチの 2 秒押しで湯温 60℃に設定できます。
浴そうの残り湯に給湯栓から差し湯するときなど、高温のお湯を使用したい場合に、お使いください。

やけどに注意

■やけどに注意

●湯温を確認してから使用してください。

■混合水栓使用時のご注意

●高温で使用中は水栓本体が熱くなりますので注意してください。

●高温で使用した後、またすぐに出湯する場合には、熱いお湯がでる恐れがありますので、安全のため水を混ぜて残り湯を流してください。

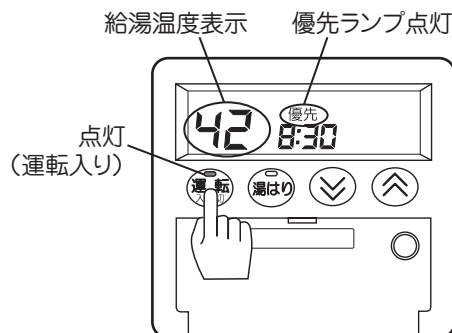
運転を再開する場合

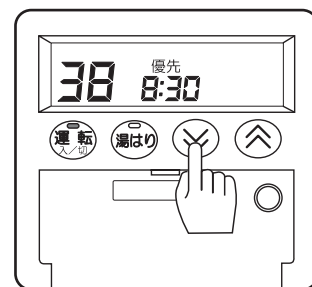
●運転停止後再び「運転」スイッチを押してシャワー及び給湯を使用する場合、停止前の設定温度が 37 ～ 50℃のときはそのまま同じ温度が表示されますが、停止前の設定温度が 60℃であったときは安全のため 42℃に戻ります。

使用方法

お湯の出しかた（台所リモコンでの操作）

お湯を使いたい

1. 運転入/切スイッチを押します。
   - 「運転ランプ」、「優先ランプ」が点灯します。
   - 給湯温度が表示されます。

2. 給湯温度設定スイッチで湯温を調節します。
   （一度設定すると記憶します。浴室リモコンとは別の温度に記憶できます。）
   - 台所リモコンの ∧ ∨ スイッチを押せば、温度設定ができます。　（例：42℃→ 38℃）

   ※湯はり温度は、台所リモコンでは変更できません。
   ※台所リモコンで 60℃に設定すると浴室リモコンで"ピピピピ"とブザーで報知し、高温設定されたことをお知らせします。

（別売：台所リモコン）

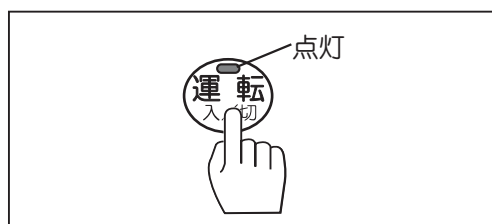
3. 台所、または洗面所の給湯栓を開けます。
   - 「給湯燃焼ランプ」が点灯します。
   - しばらくしてお湯が出ます。

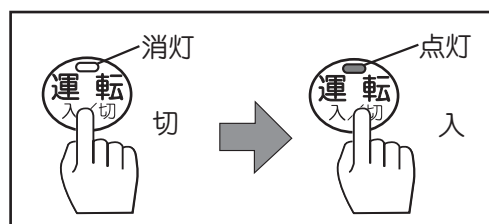
4. 使用後、給湯栓を閉めます。
   - お湯が止まると「給湯燃焼ランプ」が消灯します。
   - 運転入/切スイッチを押すと、器具の運転が停止します。

「優先」ランプが点灯しているリモコンでお湯の温度調節ができます。

使いたいリモコンを「優先」にする場合は次の操作をして下さい。

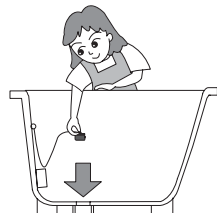
（運転入/切スイッチを入れたほうのリモコンが「優先」となります。）

- 浴室リモコンを「優先」にしたい
  - ・浴室リモコンの運転入/切スイッチを押す。

※すでに優先になっている場合は、運転「切」になります。

- 台所リモコンを「優先」にしたい
  - ・台所リモコンの運転入/切スイッチをいったん切り、再度入れる。

⚠シャワー等お湯を使用中切替えないでください。冷水が出たり、高温水が出てやけどの恐れがあります。

使用方法　湯はり運転…ふろのお湯はりをしたい

運転前の準備

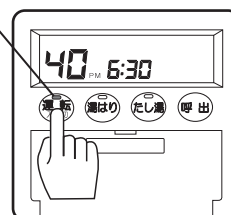
1　排水栓を閉めます。
お湯はりをする前に必ず排水栓を閉めます。

2　浴そうにふたをします。
この機器は浴そうにふたをしたままお湯はりができます。

⚠ 排水栓はしっかりと

●浴そうの排水栓を閉め忘れてお湯はりした場合、お湯はり開始後約１時間経過すると自動的にお湯はりを停止します。

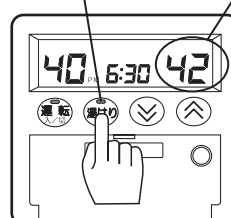
湯はり運転の使用方法

1．［運転 入／切］スイッチを押し、運転入りにします。

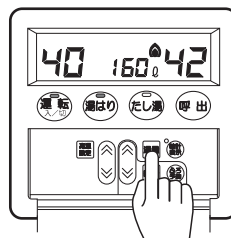
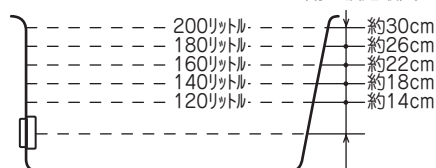
●「運転ランプ」が点灯します。

（別売：台所リモコン）

2．［湯はり］スイッチを押します。

●「湯はりランプ」が点灯し、「湯はり燃焼ランプ」🔥が点灯し、自動的にお湯はりを開始します。

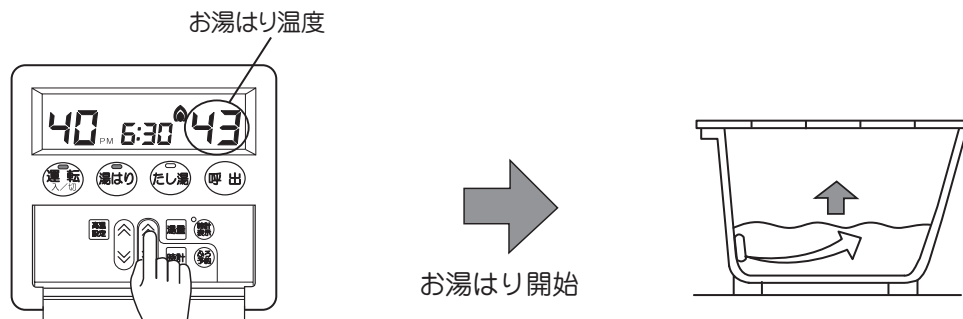
●別売の台所リモコンをご使用の場合は、湯はり運転開始時に、リモコンから「湯はりします」と、音声でお知らせします。

3．［湯量］スイッチでお湯はり湯量を設定します。

●［湯量］スイッチを押す毎に希望の湯量を120～240ﾘｯﾄﾙの７段階まで選べます。
一度設定すれば記憶します。
（電源投入時または停電復帰後は、140ﾘｯﾄﾙとなります。）

●湯量の目安は、専用浴そうの場合ふろアダプタの中心から上方約14cm(120ﾘｯﾄﾙ)から 4cm(20ﾘｯﾄﾙ)きざみの７段階(240ﾘｯﾄﾙ)です。
※出荷時は140 ﾘｯﾄﾙです。

設定水位の目安

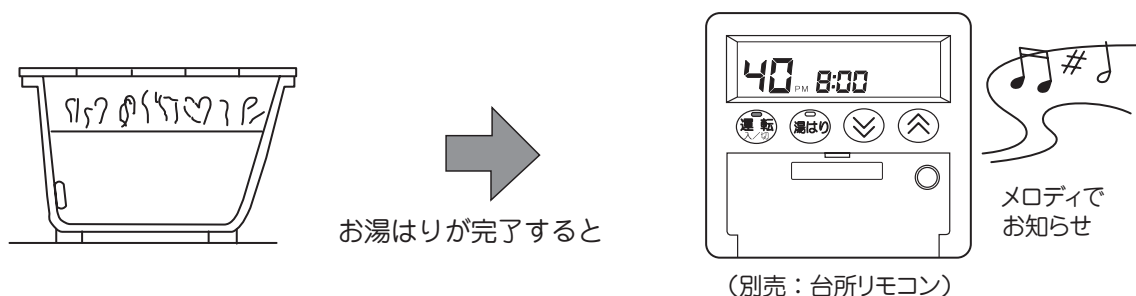
※湯量設定を多くすると浴そうによっては、あふれる場合があります。

4. 湯はり温度設定スイッチでお好みのお湯はり温度に設定します。

●お湯はり温度は、目安ですが、約 37 ～ 48℃の範囲で 1℃ずつ設定できます。

5. 設定湯量になると自動でストップ。（ブザーでお知らせ）

●おふろ設定湯量までお湯はりを完了すると、お湯が止まります。
湯はりランプ、湯はり温度、湯はり燃焼ランプが消灯し、リモコンから
ブザーでお知らせします。

●別売の台所リモコンとセットでお使いの場合は、台所リモコンから、
メロディでお知らせします。

（別売：台所リモコン）

湯はり運転ご使用上の注意

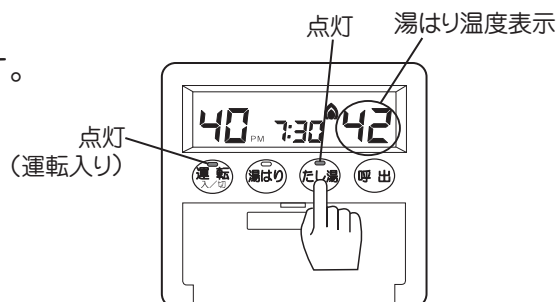
●電源投入時または停電復帰後の湯はりの温度は、42℃設定となっています。
●浴そうに残り湯がある場合は、その水量分を見込んで湯はり量と湯はり温度を設定してください。

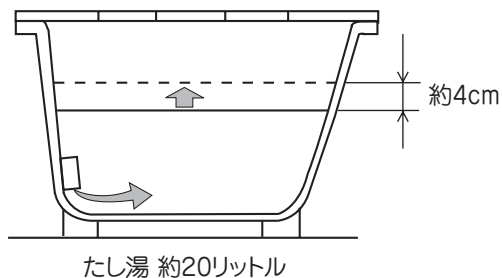
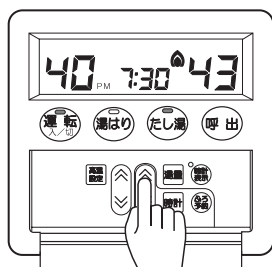
湯はり中の給湯使用について

●お湯はり運転中でも給湯栓を開けるとお湯を使用することができます。給湯栓を開けると給湯温度は給湯温度表示部に表示された温度となります。
この時、お湯はりは、いったん停止して「湯はり燃焼ランプ」が消灯し、「給湯燃焼ランプ」が点灯します。給湯使用が終わるとお湯はりを再開します。
※給湯を使用した時間だけ、お湯はり時間は長くなります。
●配管によっては、給湯栓からのお湯が出にくいことがあります。
●冬季など入水温度が低い場合は表示の温度より低いことがあります。

たし湯運転…おふろのお湯の量を増やしたい

使用方法

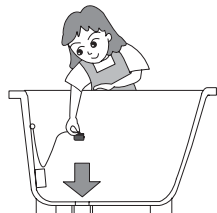
1. （運転 入/切）スイッチを入りにしてから、（たし湯）スイッチを押します。
   - ●「たし湯ランプ」、「湯はり温度表示」が点灯します。
   - ●浴そうのふろアダプタから、お湯が出て「湯はり燃焼ランプ」が点灯します。
   - ●約 20 リットルのたし湯（湯はり）を行います。

2. たし湯温度を変更できます。
   - ●湯はり温度設定スイッチで、たし湯温度が変更できます。（例：42℃→ 43℃）

たし湯 約20リットル

たし湯運転ご使用上の注意

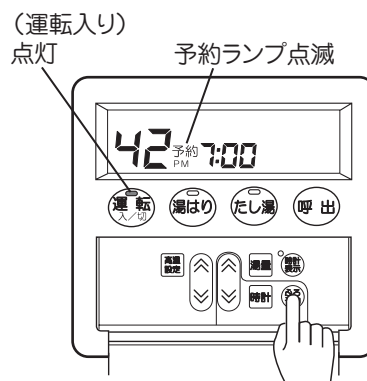
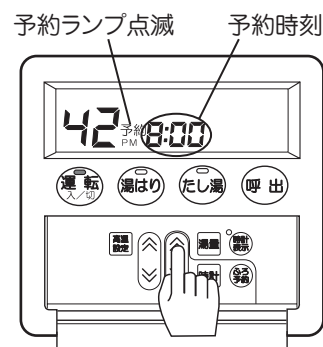
- ●たし湯温度は、記憶されません。次回のたし湯運転開始時のたし湯温度は、湯はりの温度になります。
- ●たし湯中に台所やシャワーなどで給湯を使用すると、給湯温度で給湯します。
- ●たし湯中に（たし湯）スイッチを押すと、たし湯運転を終了します。

湯はり運転予約…予約した時刻にお湯はりをしたい

運転前の準備

1 排水栓を閉めます。
お湯はりをする前に必ず排水栓を閉めます。

2 浴そうにふたをします。
この機器は浴そうにふたをしたままお湯はりができます。

予約時刻設定　浴室リモコンでの操作

1. （運転 入/切）スイッチを入りにしてから、（ふろ予約）スイッチを押します。
   - ●「予約ランプ」が点滅し、時計表示に現在設定されている予約時刻が表示されます。
   （電源投入時、または停電復帰時は、「PM7:00」表示になっています。）

2. 「湯はり時刻」設定スイッチを押し、予約時刻（入浴したい時刻）を設定します。
   - ●押す度に、1分ずつ変わります。
   - ●押し続けると、10分ずつ早送りできます。
   （例：PM8時に予約）

3. もう一度、（ふろ予約）スイッチを押します。
   - ●点滅が点灯表示に変わり、少しして時計表示に戻ります。現在時刻があっているか確認してください。
   - ●湯はり運転予約待機となります。

予約設定　台所リモコンでの操作

別売の台所リモコンでも、湯はり運転予約ができます。
※予約時刻の変更はできません。

1. 運転 入/切 スイッチを入りにしてから、予約 スイッチを押します。
   - 「予約ランプ」が点灯します。
   - 予約時刻が表示され、少しすると、現在時刻に戻ります。現在時刻を確認してください。
   - 湯はり運転予約待機となります。

予約運転の開始

- 予約した時刻の 30 分前になると、「湯はりランプ」が点灯し、お湯はりを開始します。
  （現在時刻から、30 分以内に予約時刻を設定した場合、予約設定終了と同時に、お湯はり運転を開始します。）
- お湯はり運転が終了すると、ブザー（台所リモコンからは、メロディ）にてお知らせします。

（別売：台所リモコン）

湯はり運転予約機能ご使用上の注意点

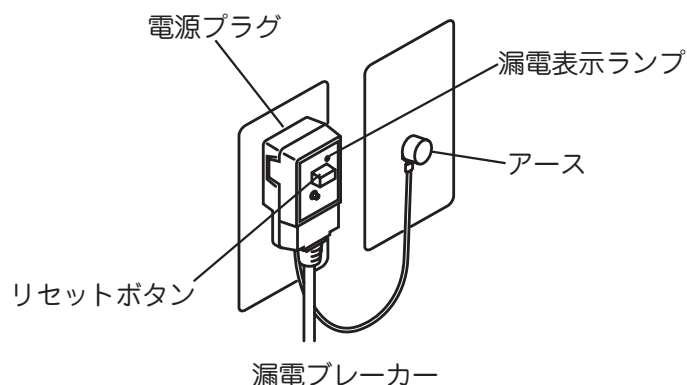
- 現在時刻の設定がされていないと「湯はり運転予約」機能は動作しません。（11 ページ参照）
- 湯はり運転予約待機中に、予約解除するときは、ふろ予約スイッチを押してください。
- 湯はり運転予約待機中に、リモコン操作で、運転切り、湯はり運転または、たし湯運転を開始すると、予約は解除されます。
- 湯はり運転予約時の、湯はり湯量・温度は、湯はり運転時の湯量・湯はり温度になります。変更する場合は、湯量スイッチや湯はり温度設定スイッチにて設定を行ってください。
- 湯はり終了ブザーは、予約時刻にかかわらず、湯はり完了時に報知します。
- 浴そうに、前日の残り湯が残っている場合は、その水量分を見込んで湯量と湯はり温度を設定してください。残り湯の量によっては、最低の湯量設定 120 ﾘｯﾄﾙでも浴そうからお湯があふれる場合があります。
- 湯はり運転予約待機中に停電すると、停電復帰後、予約は解除されます。
- 水圧や水温などの使用条件により、予約した時刻に湯はりが終了しない場合があります。

機器内部の凍結予防方法

凍結予防

冬期は寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結がおこることがあります。
冷え込みが激しいときは、次のいずれかの方法で予防処置をとってください。

1．通常の寒さのときの凍結予防ヒーターによる予防方法

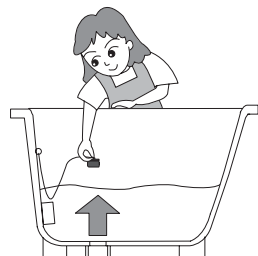
●電源プラグをコンセントに入れた状態にします。
　抜けていると作動しませんので、注意してください。
●漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していないことを確認してください。
　点灯している場合は凍結予防ヒーターが作動しません。漏電している可能性も
　ありますのでリセットボタンを押して確認してください。（24 ページ参照）

●この機器は気温が下がってくると自動的に機器内を保温し凍結を予防するヒーターが
　組込まれています。通常は、電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば機器
　内の凍結は予防できます。
●凍結予防ヒーターは、リモコンのスイッチ操作に関係なく働きます。

凍結予防に関する注意点

●ヒーターで凍結を予防できる気温の条件は、無風時－15℃まで、有風（4 m／秒）時－10 ℃までです。気温がこれ以下になる時は、通水による方法や水抜き処置によって、凍結予防をしてください。
●ヒーターは、機器内の保温はしますが、配管やバルブ類の凍結予防はできません。配管には保温材を巻いて凍結予防をしてください。
●この機器は外気温が－15℃以下になる場合には凍結予防のために水抜き処置が必要です。
（28 ページ（長期間使用しない場合）参照）

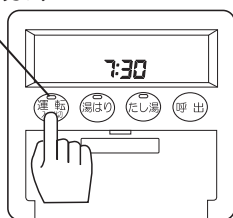
2．冷え込みの厳しいときや停電のときの予防方法

■通水による方法

（1）浴そうの水をぬきます。

（2）リモコン（運転 入/切）スイッチを切りにします。

●「運転ランプ」が消灯します。

（3）ガス栓を閉めます。

（4）おふろ場の給湯栓を開けて、1分間に400cc（牛乳びん2本分）ぐらいの水を浴そうに流し込みます。（流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。）

これらの処置をしても凍結する恐れがある場合は、水抜きを行なってください。
（28ページ（長期間使用しない場合）参照）

⚠ 凍結したときは

●凍結により、給湯栓・シャワー栓・ふろアダプタから水が出ないときは、使用しないでください。

●凍結したままで使用しますと、機器に異常が生じ危険です。

●再度使用する場合は、ガス元栓、給湯・シャワー栓を閉め、解凍するのを待ちます。解凍して、通水したあと、本体や配管から水漏れがないことを確かめてからご使用ください。

●凍結により、機器が破損した場合、高額の修理費用がかかります。（有料）

●特に寒い場合など、給湯が可能であっても、ふろ配管が凍結している可能性があります。浴そうへの最初のお湯はりは、給湯栓を開け吐出口から行ってください。

●万一、機器や配管から水漏れするなどの異常がある場合は、ガス元栓、給水元栓を閉め、また、浴そうの排水栓を抜いてから、お買い求めの販売店、またはもよりの東京ガスまでご連絡ください。

点検・お手入れ

高温注意

●お手入れの前には、ガス栓・給水元栓を閉め、機器が冷えてから行なってください。
機器使用中および使用終了直後は、排気口や本体が高温になっていますので、やけどする恐れがあります。

分解禁止

●機器やリモコンは、絶対に分解しないでください。
故障の原因になります。

点検のポイント

●機器の上やまわりに燃えやすいものがありませんか。
●給気口・排気口が布などでふさがっていませんか。
●機器や配管から水漏れしているような様子はありませんか。
●ガスのにおいはしませんか。
●運転中に機器から異常音が聞こえませんか。
●機器の外観に異常は見られませんか。
●漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。

お手入れ時の注意

機器外観やリモコンの表面の汚れがひどくておそうじされる時は、布またはスポンジに台所用洗剤（中性洗剤）をつけてふきとったあと、からぶきします。

●ミガキ粉やタワシなど固いものでこすらないでください。
傷がついて、塗装がはがれたり腐食の原因になります。
●シンナー・ベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。
前カバー、リモコン等は変色、変形、塗装のはがれの恐れがあります。
●リモコンケースには故意に湯水や洗剤をかけないでください。
リモコンの故障の原因になります。
●ふろアダプタのお手入れには、塩素系洗剤は使用しないでください。
変色、変形の恐れがあります。
●浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。
湯あかが残っていると、銅イオンと化合して青く変色することがあります。

■漏電ブレーカーの点検

●漏電ブレーカーが正しく作動することを確かめるため、次の操作を行なってください。

① テストボタンを押します。　→漏電表示ランプが点灯します。

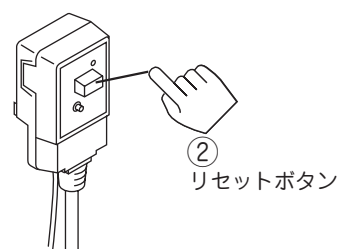
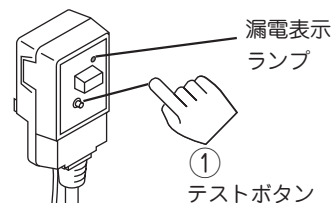
② リセットボタンを押します。→漏電表示ランプが消灯します。

●月に1回以上の作動確認を行なってください.

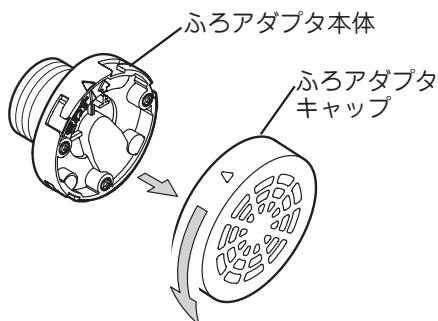
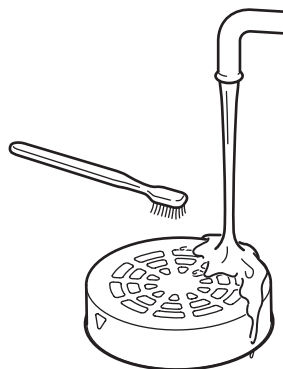
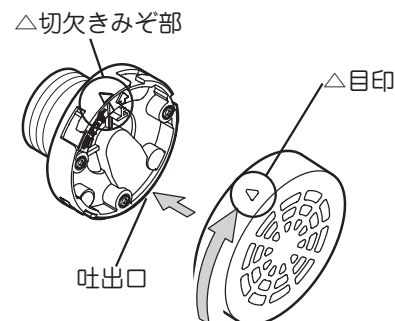
※正しく作動しないときは、機器の使用を止め、電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店、またはもよりの東京ガスへご連絡ください。

※点検の前に漏電表示ランプが点灯しているときは、リセットボタンを押してください。
再び漏電表示ランプが点灯するようでしたら電源プラグを抜き、お買い求めの販売店、またはもよりの東京ガスへご連絡ください。

※作動確認後は設定していた温度、湯量、現在時刻、湯はり運転予約等が初期値になります。

・給湯温度　42℃　　・現在時刻　－：－－
・湯はり温度　42℃　　・湯はり運転予約時刻　PM7:00
・お湯はり湯量　140ﾘｯﾄﾙ

■ふろアダプタのお手入れ

●ふろアダプタの汚れや詰まりのお掃除は、ふろアダプタキャップを取外して水で洗います。
●月に1回以上、掃除してください。ふろアダプタが詰ったまま使用しますと故障の原因になります。

① ふろアダプタキャップを左へ少し回してから引き外します。

② ふろアダプタキャップを歯ブラシ等で水洗いします

③ ふろアダプタキャップの△目印を△切欠きみぞ部に合わせてはめ込み、右に止まるまで回して固定します。

※ふろアダプタキャップの取り付けは、ふろアダプタキャップの△目印を△切欠きみぞ部に合わせてはめ込み、右に止まるまで回して固定します。
※ふろアダプタキャップは必ず正常に取付けて使用してください。外したままや、正常に取付けられていない状態で使用しますと故障の原因になります。

故障かな？と思ったら

次のことをお調べください

現　　象	お調べいただきたいこと
リモコンのスイッチを押しても表示ランプが点灯しない	●電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。 ●漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。 （24 ページ） ●停電していませんか。
給湯栓を開けてもお湯が出ない	●ガス元栓が全開になっていますか。 ●給水元栓が全開になっていますか。 ●断水ではありませんか。 ●リモコンの「運転」スイッチを押しましたか。 ●凍結していませんか。（21,22 ページ）
あついお湯が出ない	●リモコンの給湯温度設定が低くなっていませんか。 ●ガス元栓が全開になっていますか。 ●給湯またはシャワーを２ヶ所で同時使用されていませんか。
ぬるいお湯が出ない	●リモコンの給湯温度設定が高くなっていませんか。 ●水量を絞りすぎていませんか。（夏） ●給水元栓が全開になっていますか。
設定した温度、時刻などが記憶されていない	●停電が起きていませんか。 ※１秒以上の停電が発生した場合、設定していた温度、時刻、お湯はり湯量が初期値になります。（24 ページ）

エラーコードの表示をお調べください

表示	故障と思われる範囲または原因	処　　置
111 121	給湯不着火 給湯使用時、途中消火（失火）	ガス元栓の全開を確認し、エラーコードの点滅を解除します。再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは修理依頼してください。
140	残火安全装置作動 過熱防止装置作動	安全装置の作動または故障が考えられます。エラーコードの点滅を解除し、再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは、修理依頼してください。
101	ファンほこりづまり警告	お湯を使用することはできますが、十分な給湯能力が出ない状態ですので、修理依頼してください。
991	ファンほこりづまり異常	給湯、湯はりが使用できない状態ですので、修理依頼してください。

⚠ リモコン表示ランプが点滅しているときは

●この機器は機器の故障または異常を検知すると、リモコンの時計表示部にエラーコードを点滅表示します。（上表で確認してください。）

●エラーコードの点滅解除は、スイッチを押します。

●機器を再運転しても表中のエラーコードが何度も表示される場合や、表中以外のエラーコード（300，311，331，721，611，310，700など）が表示される場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店または、もよりの東京ガスへご連絡ください。

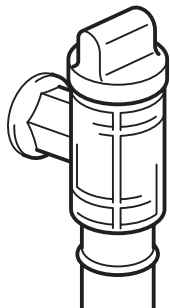
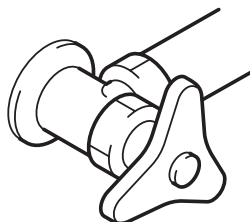
●使用途中でリモコンのランプが点灯しなくなった場合、マイコンの安全装置または漏電ブレーカーの作動が考えられますので、24ページの要領で漏電ブレーカーの作動確認をしてください。

次のような場合は故障ではありません

こんな場合	理　　　　由
給湯栓を開いてもすぐにお湯が出てこない。	機器から給湯栓までは距離がありますのでお湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。
お湯の出を止めてもしばらく音がする。	消火後７分間は燃焼ファンを回転させて、燃焼ガスを排出します。
寒い日に排気口から白い湯気がでる	寒さで排気の中の水蒸気が白く見える現象で異常ではありません。
高温出湯にすると、お湯が白くなる。	水には空気が含まれていて加熱されると気泡となって現われるためのものです。異常ではありません。
お湯はりまたは、たし湯を始めるとふろアダプタからポコポコ音がして泡が出る。	お湯はり配管の中にたまっていた空気が押し出されるためのもので、しばらくすると出なくなります。
排水ホースから少量のお湯が出る。	この機器は、逆止弁構造（浴そう内のお湯が給水側へ逆流しない構造）をもった大気開放弁が内蔵されています。 ●使い始めと使い終りに少量のお湯が出ますが異常ではありません。 ●給水圧が低い場所で給湯と自動お湯張り等を同時使用した場合、浴そうへのお湯はり量が少なくなり、少しだけ機外へもお湯を排水しますが異常ではありません。 ●大気開放弁内に空気が残留している場合、配管内の圧力が急激に上昇すると大気開放弁から少しだけ機外へ水を排水しますが異常ではありません。数回自動運転を行ない大気開放弁にお湯を通して空気を抜きますと排水はなくなります。
給湯栓を絞りすぎて水（熱い湯）になった。	給湯栓、シャワー栓を絞りすぎる（約 2L/ 分以下）と消火します。 また、熱いお湯が出たり、消火したり、を繰り返すことがあります。
ぬるいお湯がでない。	夏期水温が 30℃近くなりますと、低温にセットしても湯量が少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合には、給湯栓をさらに開けて湯量を多く出すか、専用混合水栓の給水栓を開けて湯と水を混ぜて使用してください。
お湯はり時間が長い場合がある	お湯はり中、給湯を使用すると、お湯はりをいったん停止します。 給湯使用時間分、お湯はり時間が長くなります。
お湯はり中、ふろアダプタから白いお湯が出る。	お湯はり中、器具の異常を検出するため湯はり湯量を絞ります。 このとき、ふろアダプタから白濁したお湯がでますが異常ではありません。 また、高水圧地区では水切り音が発生する場合がありますが異常ではありません。

長期間使用しない場合

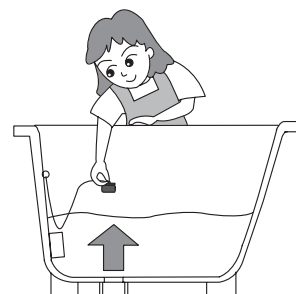
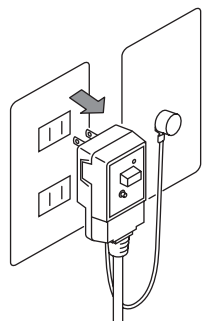
●長期間使用しない場合は次の操作をしてください。

1．ガスの元栓を閉じる。

2．給水元栓を閉じる。

3．機器の水抜きを行う。

※水抜きの手順

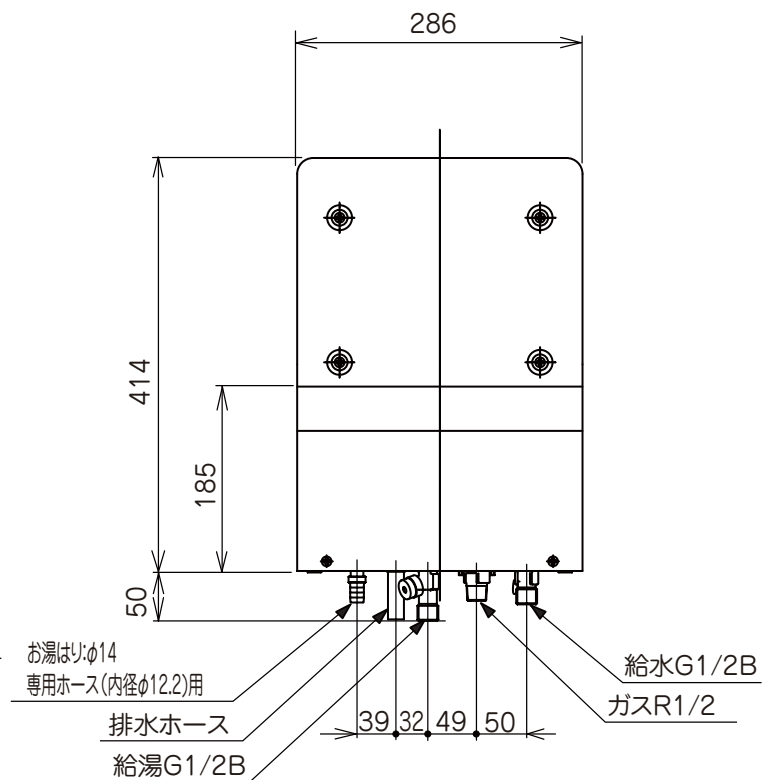
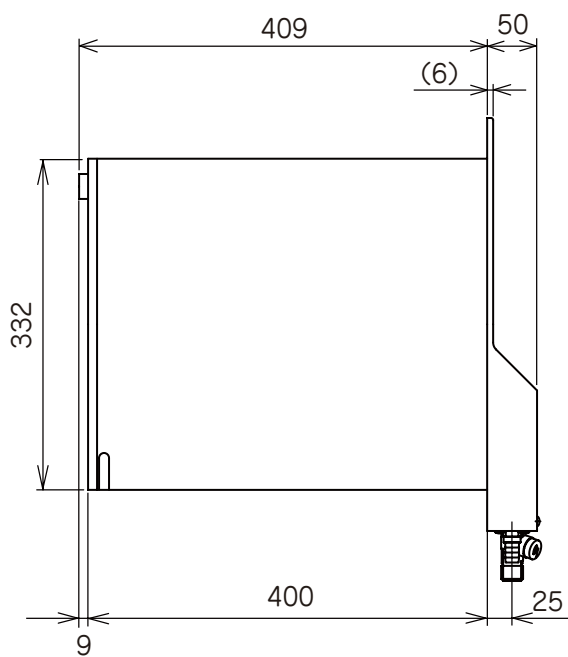
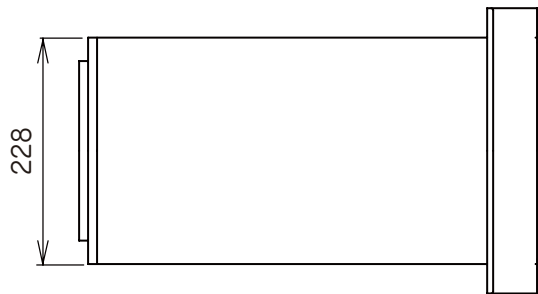
(1) 給水、給湯配管に水抜栓がある場合は水抜栓を外す。

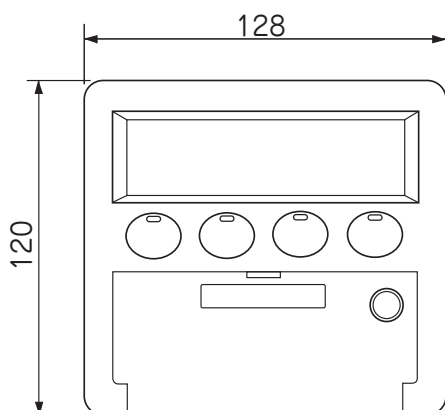
(2) 配管内の水が抜けたら、元通りにする。

(3) 浴そうの水を排水する。

4．電源プラグをコンセントから抜く。

●再使用については10 ページの「初めてお使いいただくときは」にしたがってください。

寸　法　図

■本　体

単位：mm

■リモコン（浴室、台所共通）

単位：mm

仕　様

■ 仕様表

項目			仕様
外形寸法（本体）			幅286×高さ464×奥行459mm
壁貫通部寸法			幅228×高さ332×奥行409mm
質量（本体）			18 kg
接続寸法	ガス		R1/2（TU接続）
	給水・給湯		G1/2B
	湯はり		φ14mm専用継手
標準ガス消費量 kW	ガス質		13A
	給湯	最大	34.9（30,000kcal/h）
		最小	5.8（5,000kcal/h）
電気定格	電源		AC100V（50 / 60Hz）
	消費電力		使用最大：65W
	凍結予防ヒーター		48 W
最低作動水圧			19.6 kPa（0.2kgf/cm^2）
使用水圧			53.9（動水圧）～784kPa（0.55～8kgf/cm^2）
制御システム	給湯		フィードフォワード＋フィードバック式ガス比例制御
	ファン制御		DCファンによる回転数制御
排気温度			260℃以下
安全装置			・立消え安全装置　・過熱防止装置　・ファン回転検知 ・沸騰防止装置　・漏電ブレーカー　・過圧逃し弁 ・残火安全装置　・凍結予防用ヒーター　・逆流防止装置

■ 出湯能力

＊印は換算相当出湯能力を示す。

ガス種	標準号数（号）		温度上昇と標準出湯量（リットル／分）				
			水温＋15℃	水温＋25℃	水温＋30℃	水温＋40℃	水温＋50℃
13A	能力大	16	＊26.7	16.0	13.3	10.0	8.0
	能力小	2.5	4.1	2.5	－	－	－

上記数値は計算値です。

アフターサービスについて

■アフターサービスのお申し込み

サービス（点検・修理）を依頼される前に
「故障かな？と思ったら」の項を見て、もう一度ご確認ください。それでも不具合がある場合は、
ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、またはもよりの東京ガスへご連絡ください。

●ご連絡の際には次のことをお知らせください。

1．お客様名、住所、電話番号、道順（付近の目印等）
2．品　名・・・HK-516RFWH-FQN（機器コード　11-055-22-11624）
3．故障、異常の現象・・・（表示ランプの状態・エラーコードの表示など、できるだけ詳しく）
4．訪問ご希望日

■転居される場合

●ガスの種類の異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの東京ガスにご相談ください。
この場合、調整・改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。ただし、ガスの種類や電源の周波数によっては調整できない場合もあります。

■保証・補修について

●保証期間中の故障修理について
保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

●保証期間経過後の故障修理について
お買い求めの販売店、またはもよりの東京ガスにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により有料修理いたします。
この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切後10年間です。

■定期点検のおすすめ

●機器をより安全にお使い頂くために、定期的（年に一回程度）に点検を受けてお手入れされることをおすすめします。
なお、本機器は給水用具（逆流防止装置）を内蔵しております。給水用具（逆流防止装置）に関しては（社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は４～６年に１回程度をおすすめします。
点検はお買い求めの販売店、またはもよりの東京ガスにご相談ください。

保証書

品　　名　HK-516RFWH-FQN

型 式 名　WFK-1602SA

上記本体をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は、東京ガス供給区域内において、都市ガスにてご使用になる場合に、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

1　保証期間は、お買い上げの日から１年間とし本体（リモコンを含む）を対象とします。
2　万一故障の場合は、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお申し出下さい。原則として、出張修理いたします。
3　サービス員がお伺いした時に、保証書をご提示下さい。
4　保証期間内においても、次の場合は有償修理といたします。
（１）住宅用途以外でご使用になる場合の不具合
（２）取扱説明書等の記載事項によらないでご使用した場合の不具合
（３）器具を調整、改造された場合の不具合（但し、当社都合の場合はのぞきます）
（４）お買い上げ後、取付場所の移動、落下等による不具合
（５）建築躯体の変形等器具本体以外に起因する当該器具の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う磨耗等により生じる外観上の現象
（６）強い腐食性の空気環境に起因する不具合
（７）犬、猫、ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
（８）火災や凍結、落雷、地震、噴火、洪水、津波等の天変地異または戦争、暴動等の破壊行為による不具合
（９）電気、給水の供給トラブル等に起因する不具合
（１０）指定規格以外のガス、電気または熱媒等をご使用したことに起因する不具合
（１１）給水・給湯配管などの錆び等異物流入に起因する不具合
（１２）温泉水、井戸水等を給水したことに起因する不具合
（１３）本保証書を紛失された場合
5　無料修理やアフターサービス等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお問い合わせ下さい。

保証履行者　東 京 ガ ス 株 式 会 社
〒105-8527　東京都港区海岸１丁目５番２０号

保証責任者　株式会社 ハウステック
〒173-0004　東京都板橋区板橋３—９—７（板橋センタービル）

■お買い上げ日および販売店

お買い上げ日	平成　　年　　月　　日

販　売　店		取扱者	
住　　　所			
電 話 番 号			

修理記録
この本体の修理記録は、前カバー裏に添付の作動フローチャートに記録します。

■お客さまへ
1　この保証書をお受け取りになる時に、販売年月日、販売店、扱者印が記入してあることを確認してください。
2　本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
3　無料修理期間経過後の故障修理等につきましては「アフターサービス」の頁をご覧ください。
4　この保証書によって保証書を発行している者（保証履行者・保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

メモ欄として活用してください。

共通お問い合わせ先

0570—002211 ※弊社お客さまセンターへ転送されます。

●日立、甲府、群馬、熊谷、宇都宮の各エリアのお客さま、およびＰＨＳ等共通お問い合せ先をご利用できない場合は、下記へお問い合わせください。

ガスご使用場所	お問い合わせ先
千代田・中央・大田・品川・港区	03 (5722) 0111
渋谷・目黒・新宿・中野区	03 (5722) 3111
江東・墨田・台東・文京・荒川区	03 (3842) 0111
葛飾・足立・江戸川区，草加・八潮・三郷市	03 (3603) 0361
千葉・四街道・八街・印西・八千代・佐倉・白井市，印旛・本埜村	043 (242) 6121
木更津・君津・袖ヶ浦・富津市	0438 (23) 1245
世田谷区，調布・狛江市	03 (3426) 1111
杉並区	03 (3396) 1111
武蔵野・三鷹市	042 (254) 0111
東久留米・西東京・清瀬市	042 (463) 0111
立川・東村山・小平・国立・多摩・稲城・日野・国分寺・小金井・府中・東大和・所沢市	042 (524) 2111
八王子市	042 (645) 0511
練馬・豊島・北・板橋区，朝霞・和光・新座市	03 (5394) 7700
さいたま・川口・戸田・鳩ヶ谷・蕨・上尾・蓮田・久喜市，伊奈・菖蒲・白岡町	048 (651) 1131
横浜市	045 (948) 1100
川崎市	044 (245) 2211
逗子・鎌倉・藤沢市，葉山市	0466 (26) 0111
横須賀・三浦市	046 (823) 1570
町田・大和・相模原・座間・海老名・綾瀬市，城山町	042 (742) 6721
茅ヶ崎・平塚・南足柄市，寒川・大磯・中井・開成町	0463 (22) 2616
龍ヶ崎・牛久・つくば・取手市，利根・阿見町	0297 (62) 8111
日立市	0294 (22) 4131
甲府・中央市，昭和町	055 (253) 1341
高崎・前橋・藤岡市，榛名町	027 (322) 2523
熊谷・行田・鴻巣・深谷市	048 (522) 5171
宇都宮・真岡市，上三川・芳賀・高根沢町	028 (634) 1911

●インターネットでのお問い合わせ・カタログのご請求等は、下記までお願いいたします。
「ご家庭のお客さま向けホームページ」 http://home.tokyo-gas.co.jp

■ご使用に際しての機器に関するお問い合わせは、上記のお問い合わせ先、または販売店にお願いします。

販売店名

製造者

株式会社 ハウステック

〒173-0004 東京都板橋区板橋 3-9-7 （板橋センタービル）

■所在地・電話番号などは変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います（平成20年4月現在）